

しが「読み解く力」～実践編～ 【小学校 生活科】

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本小単元の目標
- 4 本小単元の流れ
- 5 本小単元において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



【小学校：生活科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

◇児童が活動や体験を通して気付いたことをもとに考え、**気付きの質が高まる**ために、試行錯誤したり伝え合ったりする活動や、言葉で振り返り表現する機会を設定しているか。

単元名「あきとあそぼう」（小学校第1学年）

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。



内容(5)「季節の変化と生活」

内容(6)「自然や物を使った遊び」

I あきのたからものをみつけよう【5時間】

- ・校庭で秋見つけ ⇒ 気付いたことを表現

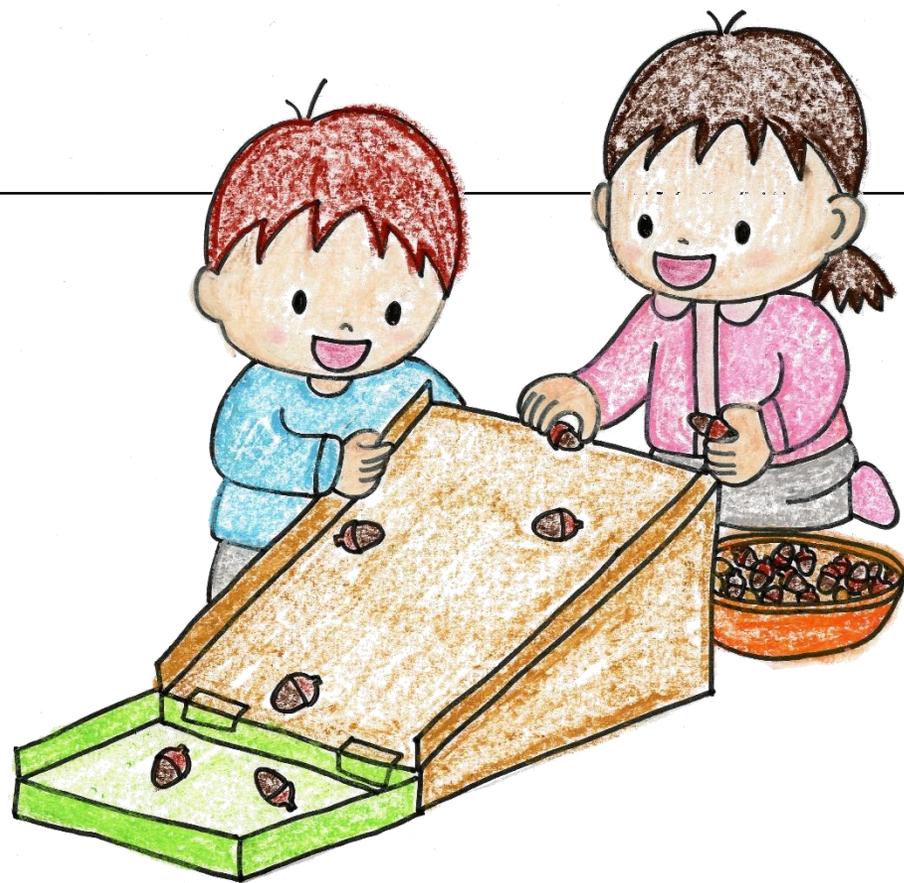
II あきのたからものでつくってあそぼう【8時間】

- ・秋の自然を利用して遊ぶ。
- ・秋の自然や身近にある物を利用して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、作った物を使って遊んだりする。

III あきのたからものでみんなであそぼう【4時間】

- ・「あきまつり」を開いて、みんなで楽しく遊ぶ。
- ・これまでの活動を振り返り、秋の思い出や秋の自然と自分との関わりなどについて、言葉や絵で表現したり、伝え合ったりする。

見つけた秋の自然を使って、比べたり、試したり、見通したりして、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができる。



(1) 思いや願いをもつ

「いろいろな形のどんぐりを見つけたよ。」 「転がして遊ぶと面白そうだね。みんなで楽しく遊びたいな。」



(2) 活動や体験をする

「こっちのどんぐりの方がはやく転がるよ。」 「ロケットみたいな形のどんぐりは面白い転がり方をするよ。」 「こうするともっとはやく転がるよ。」

(3) 感じる・考える

「拾った木の枝でコースをつくったらどうかな。」 「コースに邪魔になる落ち葉や松ぼっくりを置いたら面白そうだよ。」



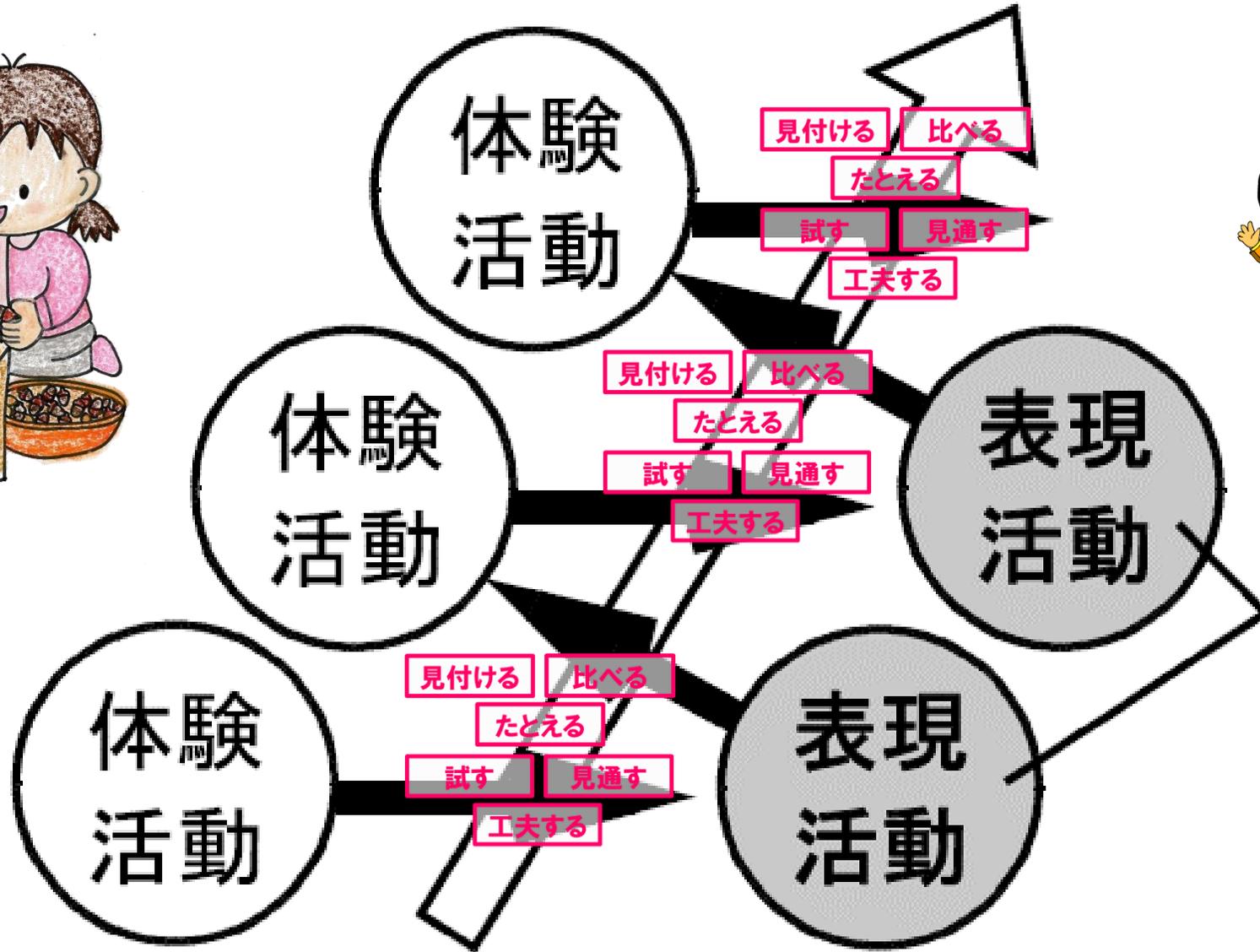
(4) 表現する・行為する

「どんぐりの形が違くと、転がり方が違いました。ルールを決めて点数をつけるともっと楽しくなりそうです。」



- 遊びの中で、秋の自然の様子や特徴に**気付く**姿。(A①)
- 遊びに使う物について、前回と今回、友だちと自分などを**比べ**たり、因果関係などを**見通**したりしながら、**遊び方**を工夫する姿。(A②・B②)
- 活動や体験を通して気付いたことについて表現し、伝え合ったり振り返ったりすることで、**気付きの質が高まる**姿。(A③・B③)

生活科における深い学び = 気づきの質の高まり



話し合い、
交流、
伝え合い、
発表など

① 必要な情報を確かに取り出す



気付き

体験や活動からの情報
これまでの経験・知識などからの情報

いろいろな形の
どんぐりを見つけたよ。



丸くて大きなどんぐりは、まっすぐ転がるよ。



ロケットみたいな形のどんぐりは、曲がって
すぐに落ちちゃうよ。

こうしたらもっとはやく転がるよ。

②情報を比較し、関連付けて整理する



どのドングリが、一番はやく転がるかやってみよう。

比べる

試す



はやく転がるけど、すぐに台から落ちちゃうね。落ちないように、木の枝でコースを作ってみよう。

見通す

試す

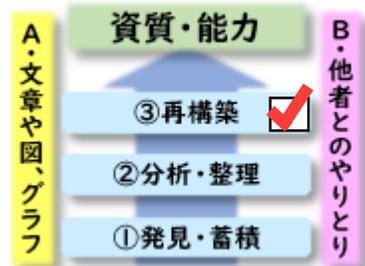
まっすぐ転がすだけではなく、コースの途中に邪魔になる落ち葉や松ぼっくりを置いたらどうかな。

工夫する

試す



試行錯誤をしたり、こうしてみたらどうなるかなと見通したりする中で、気付いたことを基に考え、考えたことによって新たな気付きが生まれます。



③自分なりに解決し、知識を再構築する

うまくいったこと
むずかしかったこと

はじめはどんぐりがうまく転がらなかったけど、よく転がるようになりました。

なぜ？

どうして？

どうしたらいいかな？



どんぐりの形が違くと、転がり方やはやさが違ったよ。

一番よく転がるのは、丸い形のクヌギだったよ。

形の違うどんぐりごとに点数を変えるとおもしろそうだね。

**気付きの
質の高まり**

- 無自覚だった気付きが自覚される
- 個別の気付きが関連付けられる
- 自分自身についての気付きが生まれる

【本小単元で身に付けたい資質・能力】

見つけた秋の自然を使って、比べたり、試したり、見通したりして、みんなと楽しみながら遊びを創り出すことができる。

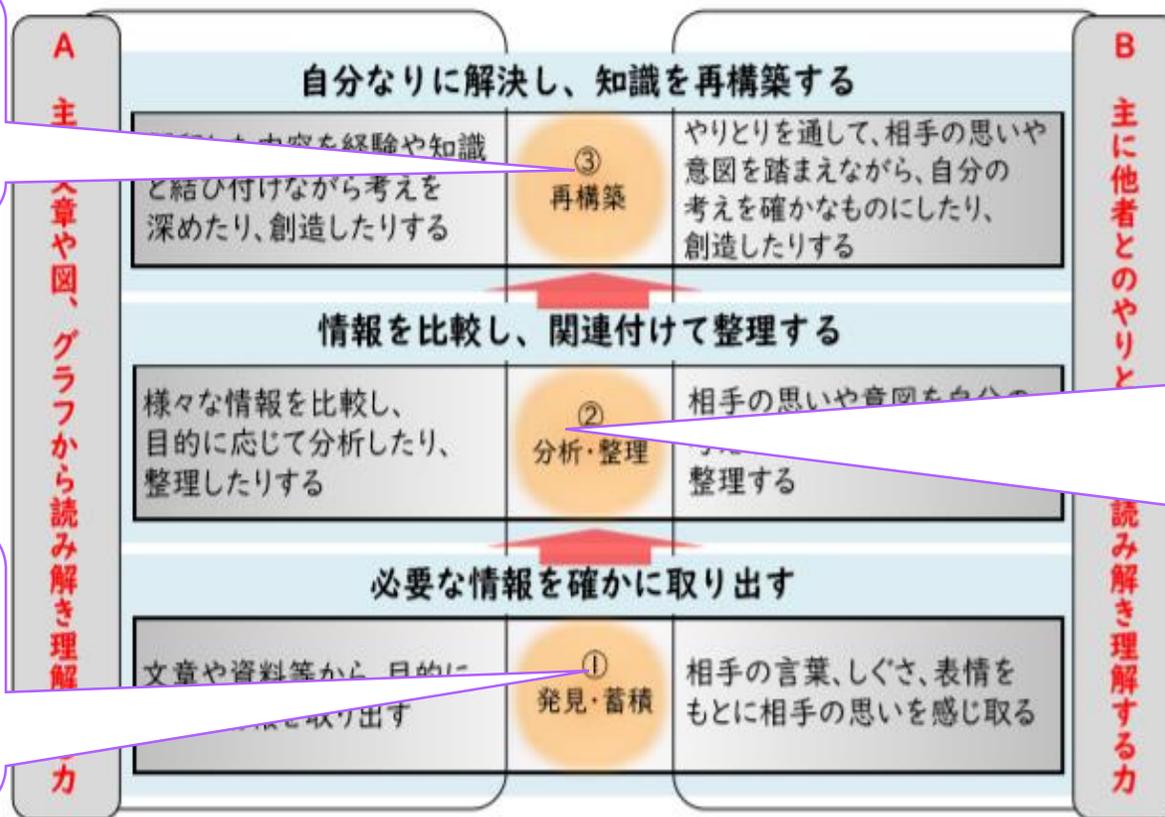
【表現する】

伝え合い交流する場の工夫
振り返り表現する機会の設定

気づきの質の高まり

【気づき】

体験や経験からの情報
これまでの経験・知識からの情報



【試行錯誤】

こうしてみたらどうなるかなと見通したりする中で、気付いたことを基に考え、考えたことによって新たな気づきが生まれます。

【思いや願い】

活動や体験に没頭できるようにする。

目的意識

